

VETRA

SFNT VET54GS

SFNT VET142GS

取扱説明書・据付工事説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。

取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

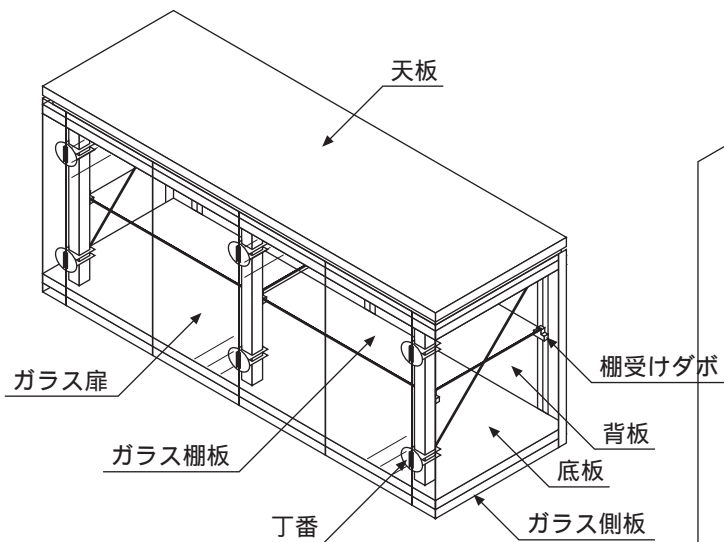
取扱説明書

- ・安全上のご注意 ----- 1 ~ 2
- ・ご使用に際して ----- 2
- ・お手入れ方法 / アフターサービスについて ----- 3

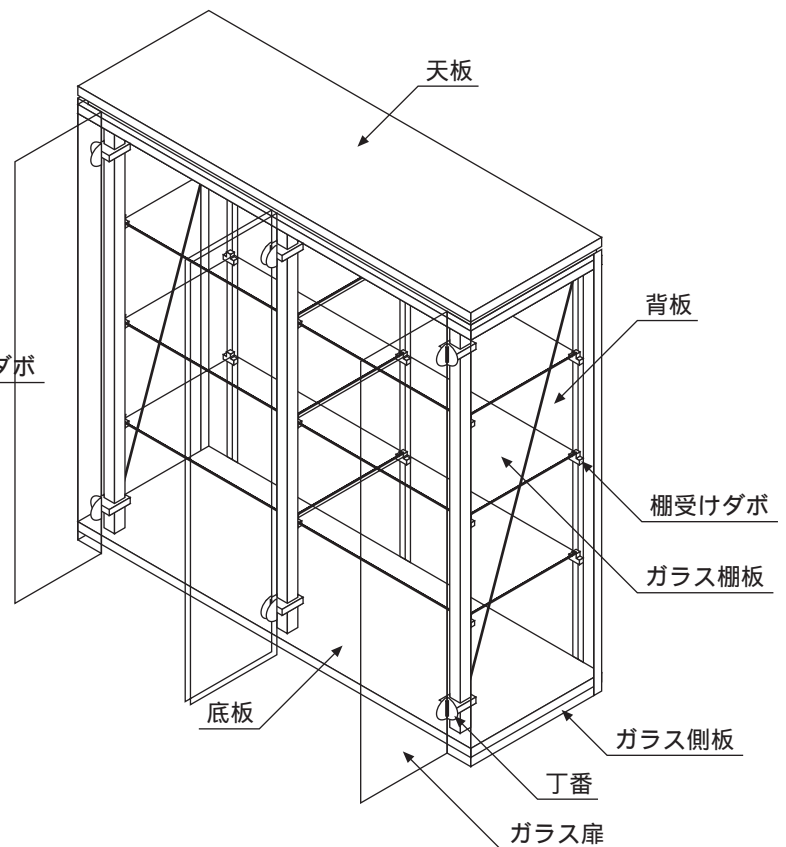
据付工事説明書

- ・安全上のご注意 ----- 4
- ・同梱部品の確認 ----- 5
- ・据付方法 ----- 6 ~ 12
- ・製品寸法図 / 据付け後の点検・清掃 ----- 13

SFNT VET54GS



SFNT VET142GS



取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

注意

ガラス扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締めなおしてください。



ガラス扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

ガラス扉の開閉はゆっくりと静かに行ってください。



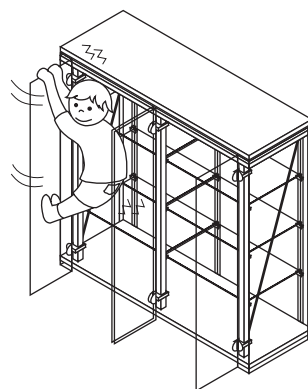
指をはさんだり、思わぬケガの原因になります。

ガラス扉を大きく開けすぎないでください。



ガラス扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

ガラス扉にぶら下がったり、本体に体重をかけたりしないでください。



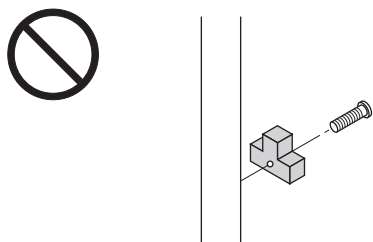
ガラス扉が外れたり、本体が落ちて、ケガをする恐れがあります。

ガラス棚板には指定の荷重以上載せないでください。



載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

棚受けダボは確実に取付けてください。



載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

強い衝撃を与えないでください。



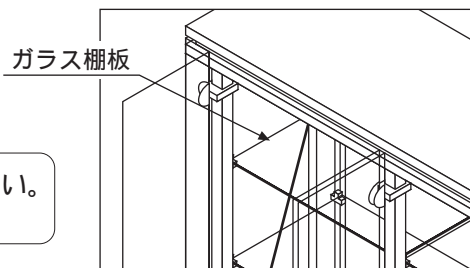
ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。

ご使用に際して

1 安心して使える重さの目安（耐荷重）

ガラス棚板 1段 8 k g

5 kg ... 直径20 cmのお皿15枚程度を目安にしてください。
均等に物を載せた場合の耐荷重です。



2 扉の開閉について

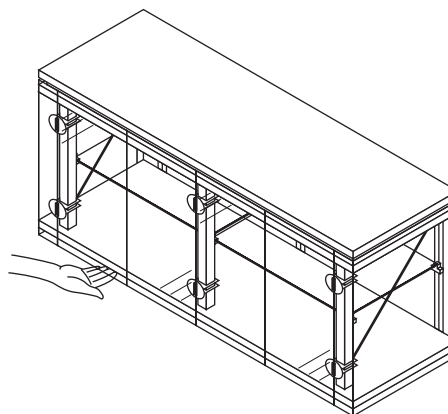
ガラス扉の開閉はゆっくりと静かに行ってください。

ガラス扉を勢いよく開けると、破損する恐れがあります。

ガラス扉を勢いよく閉めると、指をはさんだり、思わぬケガの原因になります。

ガラス扉の開け方

ガラス扉の上部または下部に手をかけて開けてください。



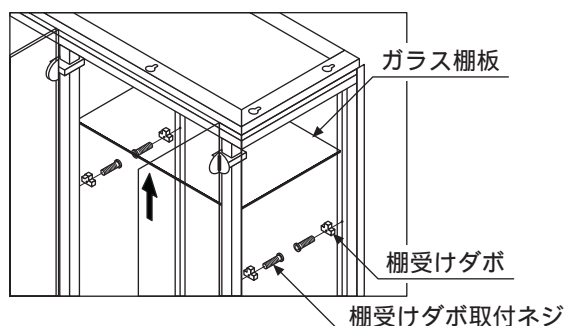
3 弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、ガソリン・アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤等は、絶対に使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。



4 ガラス棚板の位置変え

ガラス棚板はお好みの位置に変えられます。ガラス棚板を外した後、棚受けダボの取付ネジを外して棚受けダボの位置を変えてください。



お手入れ方法

通常のお手入れは、柔らかい布を水またはお湯に浸し、よく絞ってから拭いてください。

汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

ガラス部分は市販のガラスクリーナー等を使用してください。



アフターサービスについて

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

・ご氏名 ・ご住所 ・電話番号 ・お買い上げ日 ・異常の内容 ・品番

製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。



据付工事説明書

安全上のご注意


必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
---	---------------------------------------

据付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

この「取扱説明書・据付工事説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

警告

VETRAの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

注意

工事完了後は、ガタつきや部品のゆるみがないことを確認してください。



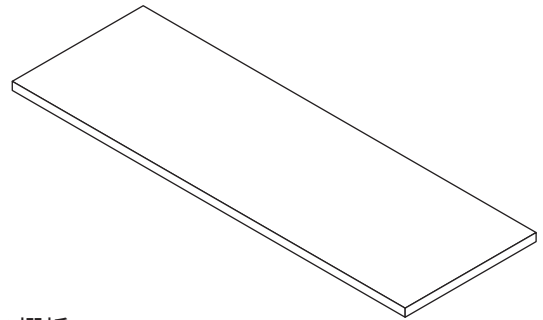
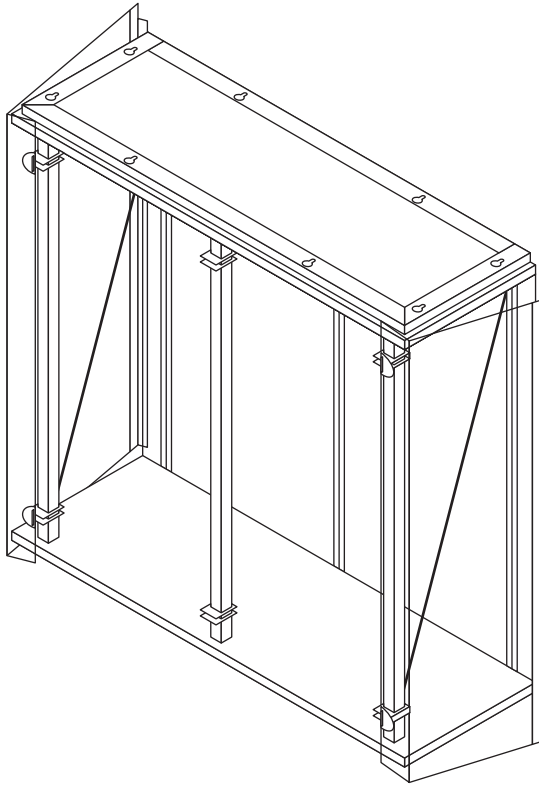
落下して、ケガをする恐れがあります。

同梱部品の確認

・ V E T R A は次の部品にて構成されています。
欠品等の無いことを確認してください。

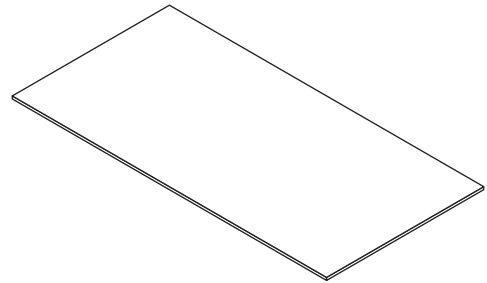
本体 1台 (背板止め金具 3本 2枚 を含む)

天板 1枚

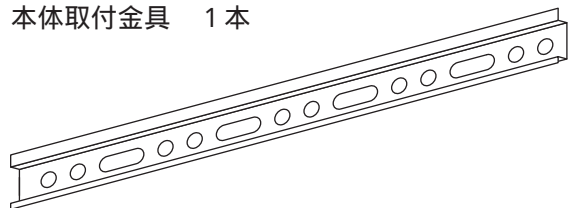


ガラス棚板

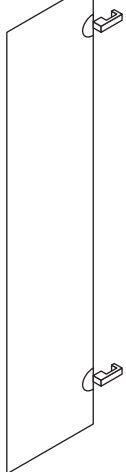
H = 545 2枚
H = 1420 6枚



本体取付金具 1本



ガラス扉 4枚



背板 (端) 2枚



ガラス側板取付ネジ
M4 × 10

H = 545 7本
H = 1420 5本



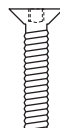
ガラス扉取付ネジ
M5 × 12 9本

ガラス扉調整用
イモネジ 9本



棚受けダボ取付ネジ
M4 × 20

H = 545 9本
H = 1420 25本



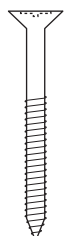
棚受けダボ

H = 545 9個
H = 1420 25個



取付ネジと棚受けダボは、1本 (個) ずつ予備です。

⊕ サラ木ネジ
3.8 × 38 10本
(本体取付金具取付用)



六角レンチ 1本
(棚受けダボ取付用)



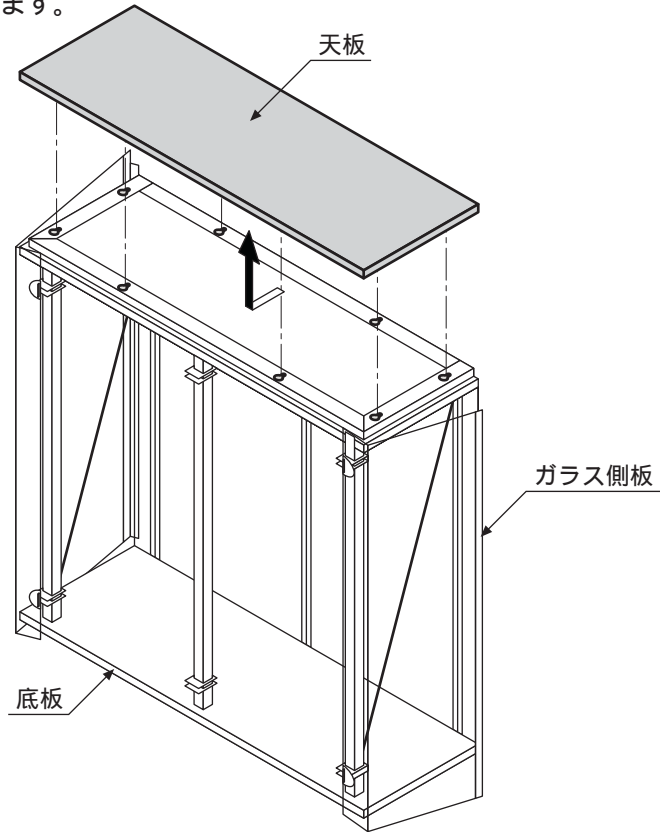
六角レンチ 1本
(ガラス側板、ガラス扉用)



据付方法 1

1. 天板を外す

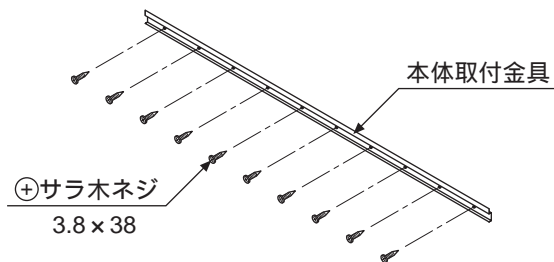
- ・床に柔らかいものを敷き、本体を置きます。
ガラス側板は底板より下へ飛び出ているので、ガラス側板に荷重がかからないように底板の下に厚いものを敷いてから本体を置いてください。
- ・天板が外れ落ちないように外します。



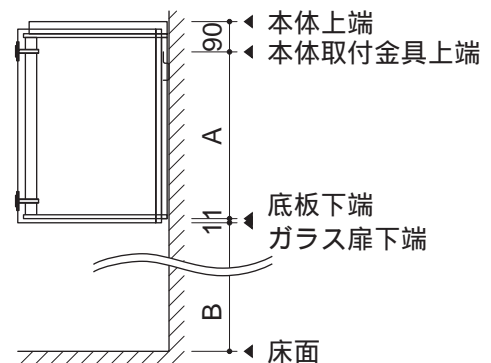
2. 本体取付金具の取付け

本体取付金具を取付ける前に壁の下地の指定位置(「製品寸法図」を参照)に取付棧 30 × 90 以上が入っていることを確認してください。

- ・壁面の指定位置(下図参照)に⊕サラ木ネジ 3.8 × 38 (10本)にて本体取付金具を取付けます。



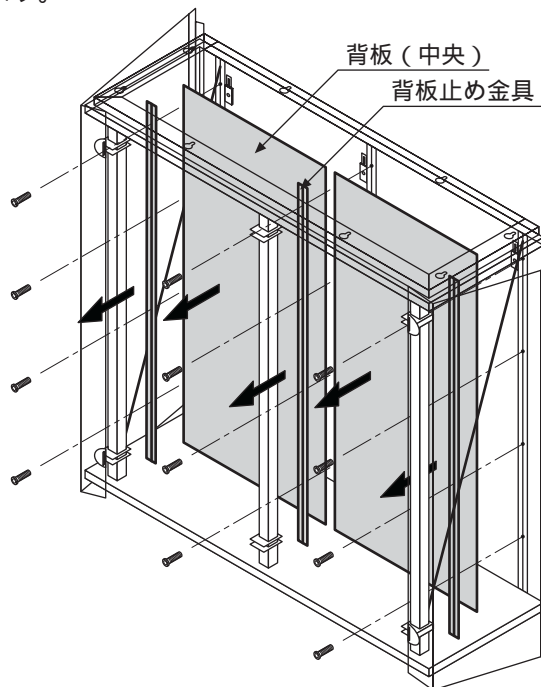
H=545 の場合 A=434、B=1741.5 [1791.5]
H=1420 の場合 A=1309、B=866.5 [916.5]



[] 内寸法は、A F 仕様【H=150】
の場合を示す。

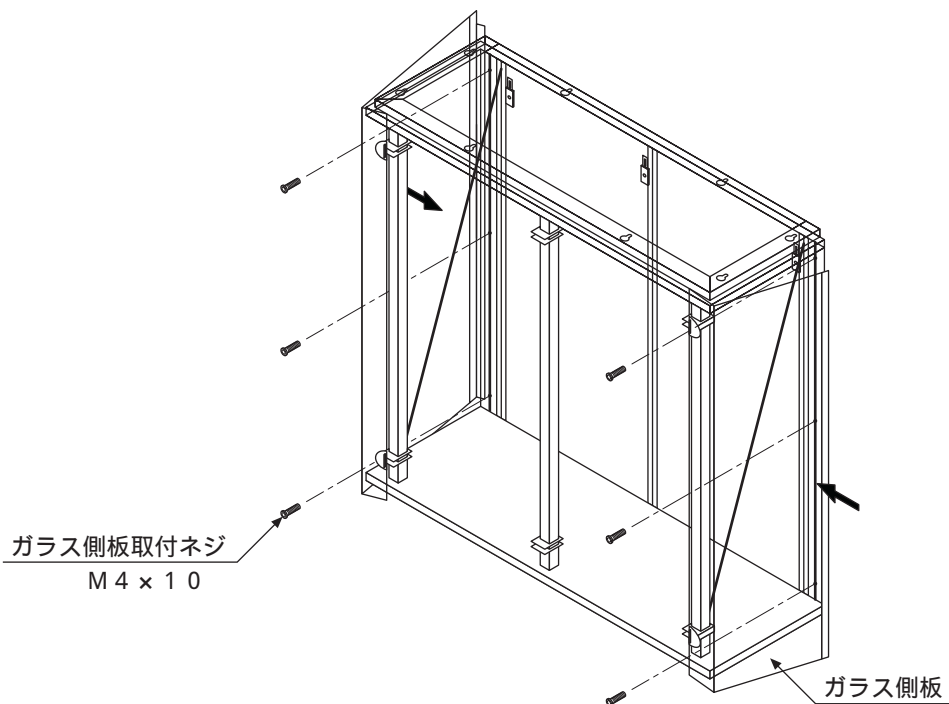
3. 背板（中央） 背板止め金具の取り外し

- ・背板止め金具 3本を外します。
背板止め金具を固定している取付ネジ（H = 545の場合各2本、H = 1420の場合各4本）を外します。
- ・背板（中央） 2枚を外します。



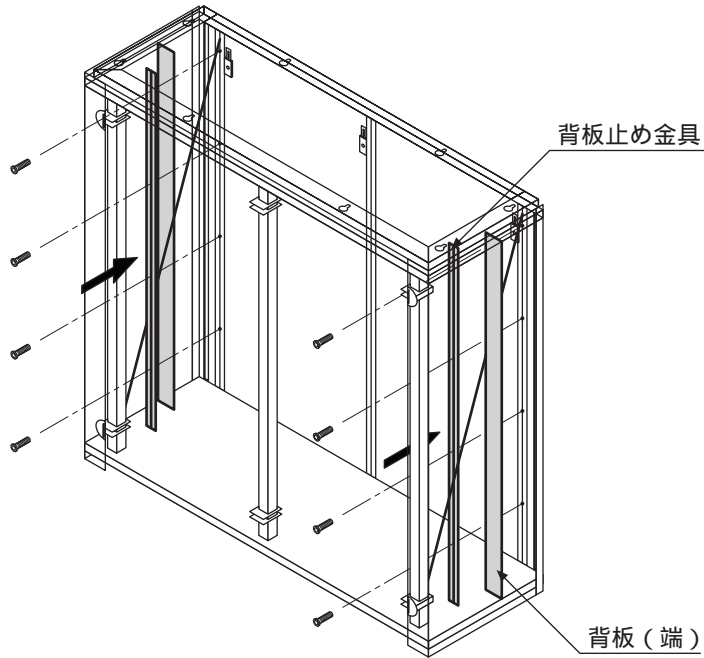
4. ガラス側板の取付け

- ・ガラス側板を本体にはめ、本体内側よりガラス側板取付ネジM4×10（H = 545の場合4本、H = 1420の場合6本）にて背板と固定します。



5. 背板（端）の取付け

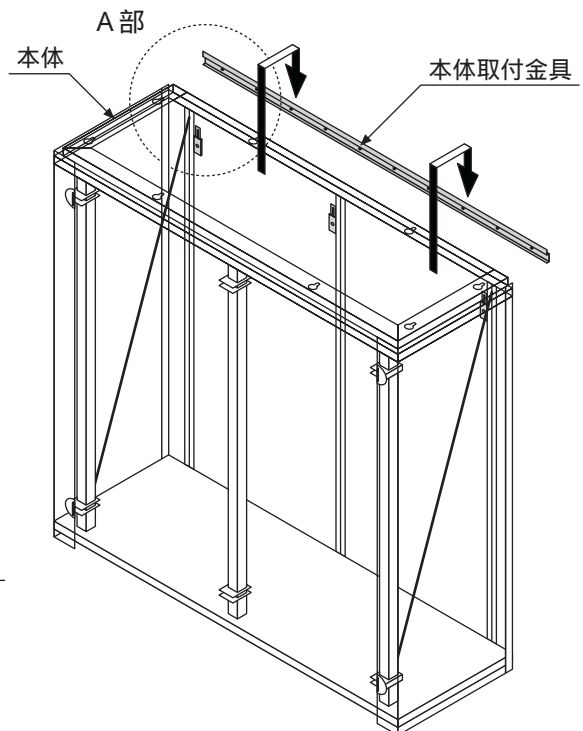
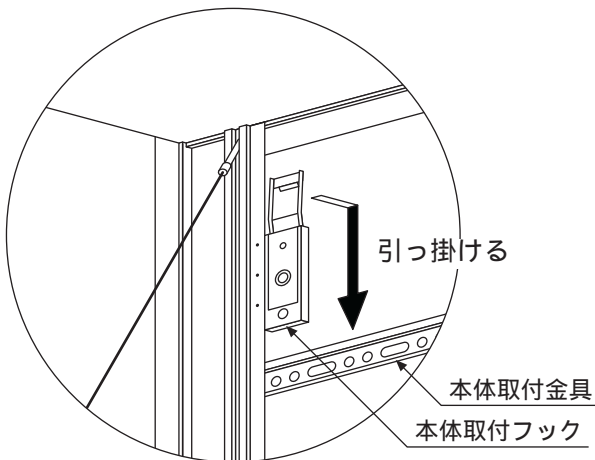
- ・背板（端）を背板止め金具で挟み込むようにして、先ほど外した取付ネジにて取付けます。



6. 本体の取付け

- ・本体を持ち上げ、本体取付フックを本体取付金具に引っ掛けるようにして取付けます。

A部取付詳細図



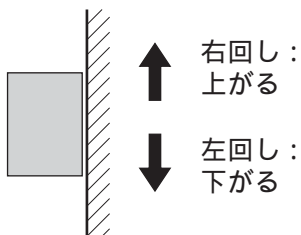
7. 本体の調整

背板（中央）を取付けると調整ができなくなりますので、しっかりと調整を行ってください。

上下調整

- ・本体取付フックの上下調整ネジを+ドライバーで回して、本体の上下方向を調整します。

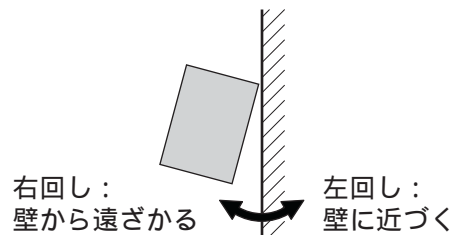
右回し : 本体が下がる
左回し : 本体が上がる



前後調整

- ・本体取付フックの前後調整ネジを+ドライバーで回して、本体の傾きを調整します。

右回し : 本体下側が壁から遠ざかる
左回し : 本体下側が壁に近づく

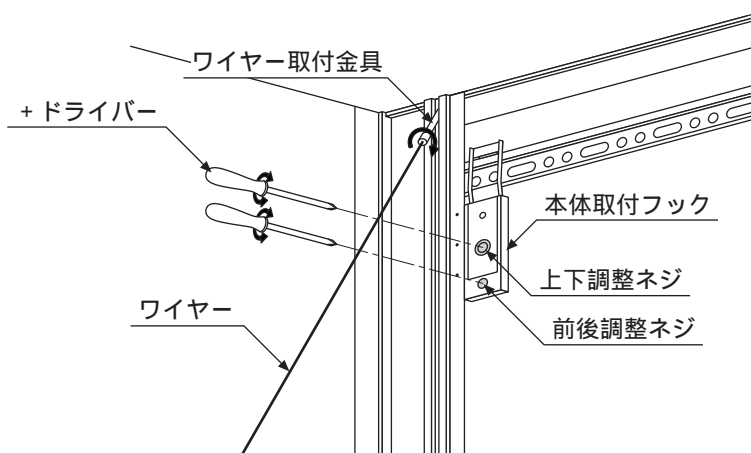


- ・ワイヤー取付金具を右に回してワイヤーを張ってください。

左回しにするとワイヤーが外れます。

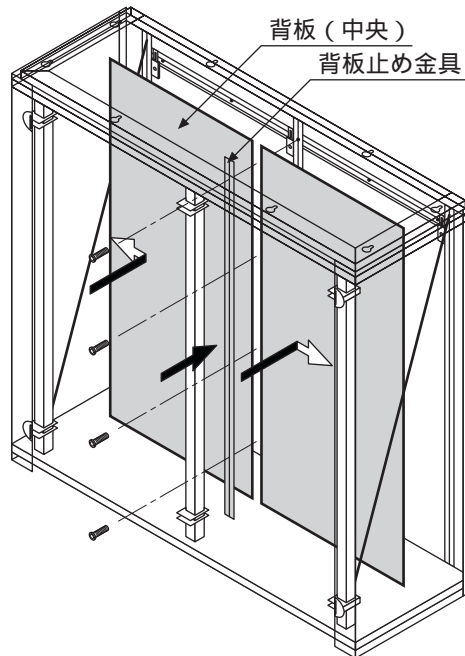
ワイヤーは絶対に取り外さないでください。

ワイヤーが外れた場合、ワイヤーを取付けるために本体を外して、据付けを始めからやり直ししなくてはなりません。



8 . 背板 (中央) の取付け

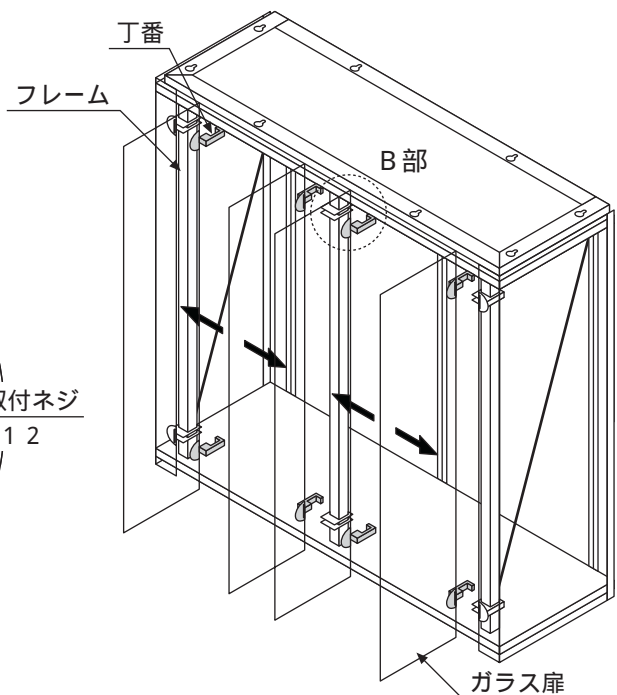
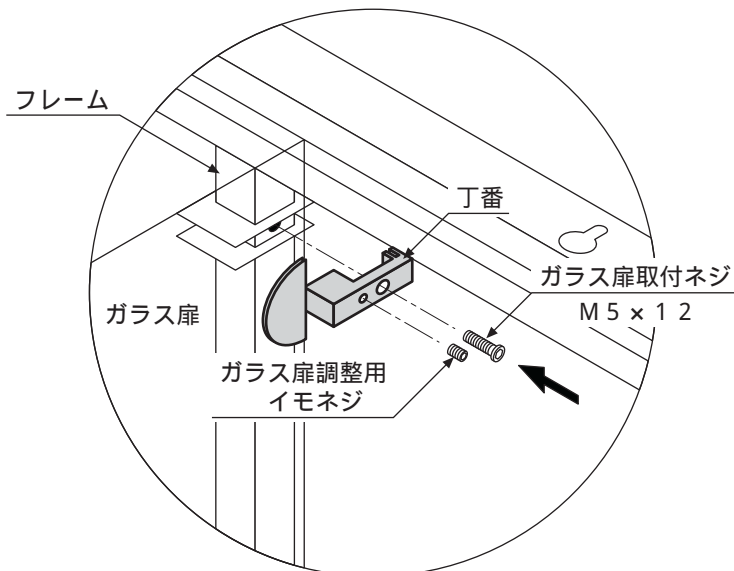
- ・背板 (中央) を左右の背板止め金具へ差し込むように取付けます。
- ・背板止め金具を先ほど外したネジにて取付け、背板 (中央) を固定します。



9 . ガラス扉の取付け

- ・ガラス扉を取付けます。
ガラス扉の丁番を本体前面のフレームと前後調整ネジに差し込み、ガラス扉取付ネジM5×12 (8本) にて固定します。(ガラス扉の納まりは、「ガラス扉の調整」の「C部断面詳細図」を参照のこと。)
- ・ガラス扉の丁番にガラス扉調整用イモネジを取付けます。
ガラス扉にはRLはありません。

B部取付詳細図



10. ガラス扉の調整

前後調整

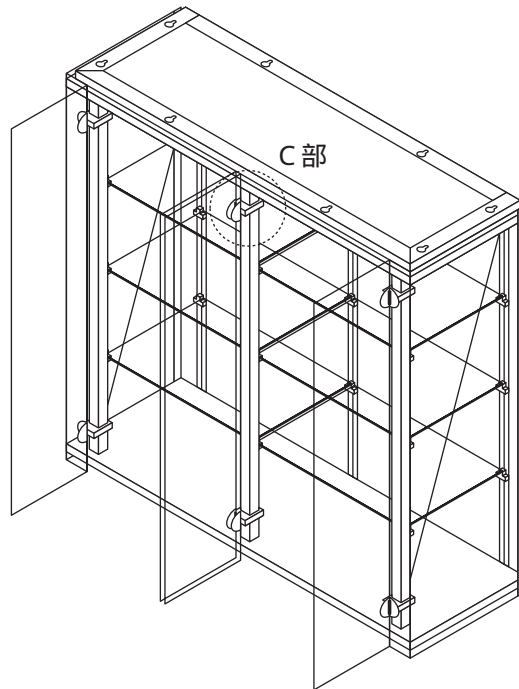
- ・ 丁番の前後調整ネジを六角レンチ（ガラス側板、ガラス扉用）で回して、ガラス扉の前後方向を調整します。

- 右回し : ガラス扉が前に出る
- 左回し : ガラス扉が後ろに引っ込む

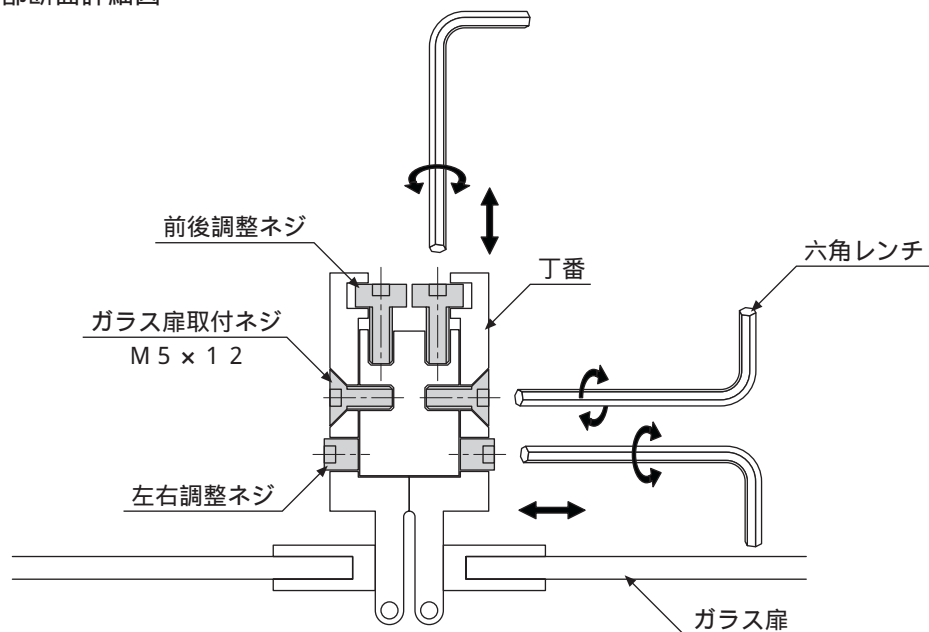
左右調整

- ・ 丁番の左右調整ネジを六角レンチ（ガラス側板、ガラス扉用）で回して、ガラス扉の左右方向を調整します。

- 右回し : ガラス扉がフレームから遠ざかる
- 左回し : ガラス扉がフレームに近づく

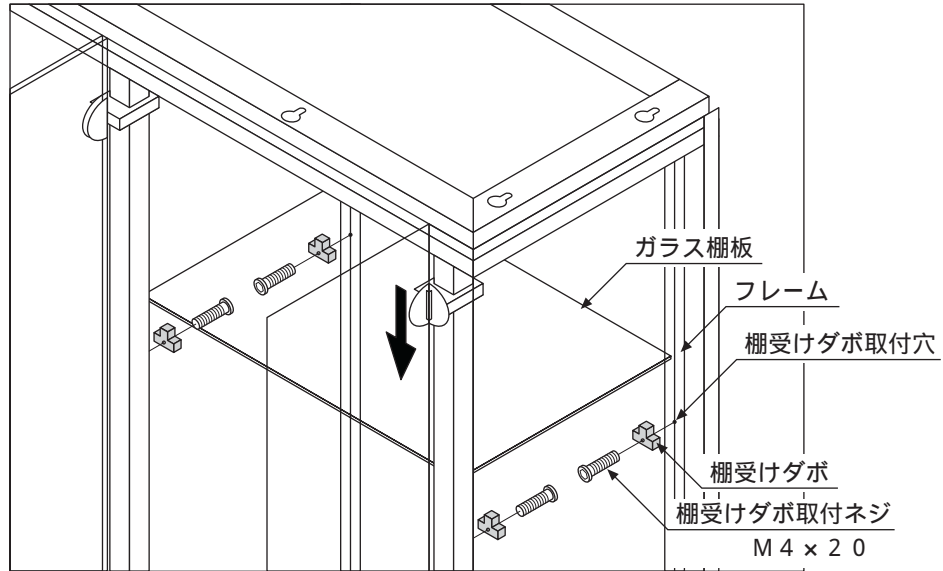


C部断面詳細図



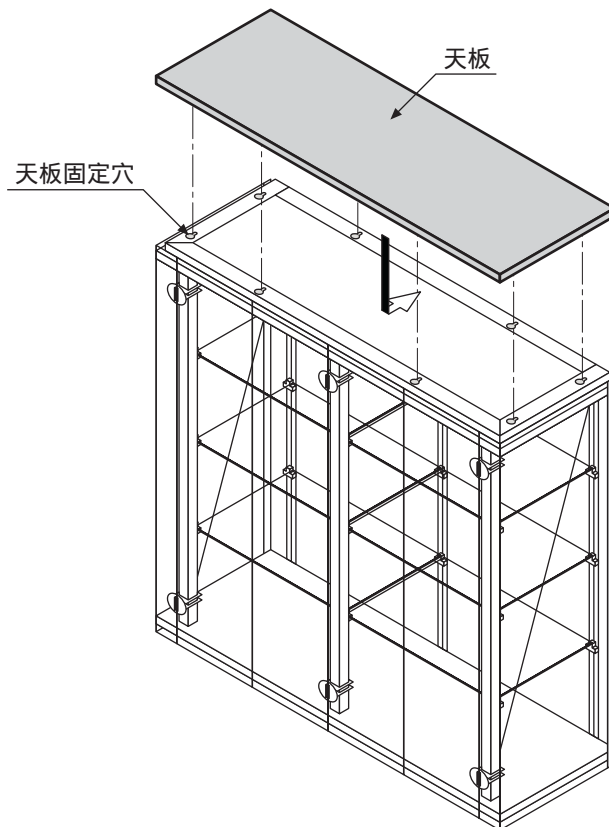
1 1 . ガラス棚板の取付け

- ・本体のフレームに棚受けダボを取付けます。
棚受けダボを棚受けダボ取付ネジM4×20にてフレームにしっかりと取付けてください。
- ・ガラス棚板を棚受けダボの上に乗せてください。
- ・ガラス棚板は任意の位置（棚受けダボ取付穴が開いている位置）に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



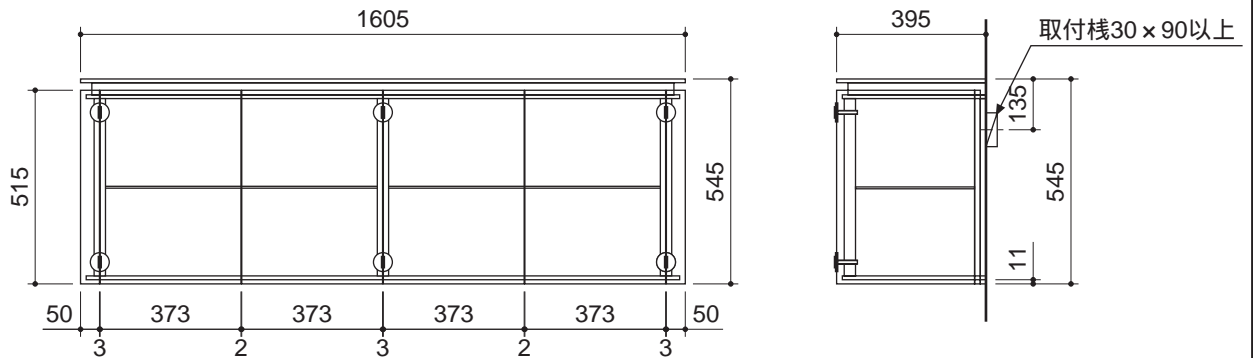
1 2 . 天板の取付け

- ・本体に天板を取付けます。
本体の天板固定穴の位置に合わせて天板を乗せ、奥へスライドさせて固定します。



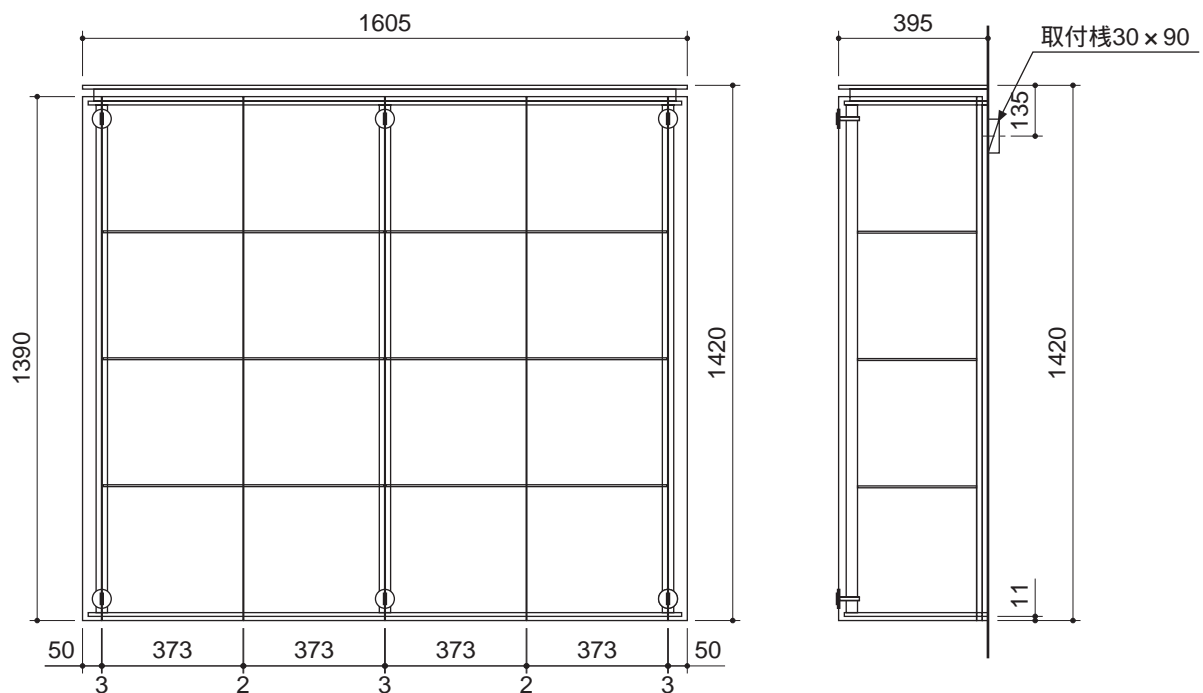
製品寸法図

SFNT VET54GS



製品重量	40 kg
総重量 (梱包を含む)	51 kg

SFNT VET142GS



製品重量	76 kg
総重量 (梱包を含む)	88 kg

据付け後の点検・清掃

- ① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いか調べてください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。



TOYO KITCHEN[®]

<http://www.toyokitchen.co.jp>

トーヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6 - 4 - 10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS136
04.6